

2022年度

第31回全日本学生アーチェリー東日本大会

大会参加要項

全日本学生アーチェリー連盟

1. 主催 全日本学生アーチェリー連盟
2. 主管 東北学生アーチェリー連盟

3. 期日 2022年5月21日(土)～22日(日)

4. 日程 5月21日(土)

～1日目～【公式練習・開会式・70mラウンド1回目】

9:30～11:50 受付・用具検査(随時受付)

10:00～11:50 練習

12:00～15:00 70mラウンド1回目(70m72射)

5月22日(日)

～2日目～【70mラウンド2回目・閉会式】

9:00～10:00 選手集合・練習開始

10:10～13:10 70mラウンド2回目(70m72射)

※なお、試合の進行状況などによりタイムスケジュールに変更が生じることもございますので、ご了承ください。

5. 会場 宮城県 秋保リゾートホテルクレセント 森林スポーツ公園内総合グラウンド

住所 〒982-0241 宮城県仙台市太白区秋保町湯元字青木33-1

TEL 022-398-2345

交通 <電車・バス>

・JR東京駅から仙台駅(1時間44分)

・JR仙台駅から路線バス宮城交通 秋保線 秋保森林公園行(約50分)

<自動車>

・東北自動車道「仙台南IC」→R286経由→秋保温泉(約15分)

・東北自動車道「仙台宮城IC」→西道路経由→秋保温泉(約20分)

・仙台駅→青葉山トンネル経由→秋保温泉(約40分)

・仙台南空港→R4・仙台南有料道路経由→秋保温泉(約50分)

※公園内に200台まで収容可能な無料駐車場あり

6. 競技方法 70mラウンド×2回

7. 競技規則 全日本アーチェリー連盟競技規則 2022～2023年

8. 参加定員

- ・男子定員 60名

固定地区枠(各地区8名)：32名

連盟員比率に応じて配分：28名

	固定地区枠	連盟員比率枠	合計
北海道地区	8名	2名	10名
東北地区	8名	3名	11名
関東地区	8名	18名	26名
東海地区	8名	5名	13名

- ・女子定員 40名

固定地区枠(各地区5名)：20名

連盟員比率に応じて配分：20名

	固定地区枠	連盟員比率枠	合計
北海道地区	5名	1名	6名
東北地区	5名	2名	7名
関東地区	5名	13名	18名
東海地区	5名	4名	9名

9. 選考方法

- ・予選会が行われた地区はその記録を用いて選考をし、予選会が中止になった地区は全日本アーチェリー連盟公認競技会（70m72射）での記録を提出し、提出された点数が高い選手から順に選出します。
- ・申請最低点は**男女リカーブともに530点**とします。
- ・選考の対象となる試合は**2021年4月1日～2022年5月3日**までに行われた全日本アーチェリー連盟公認競技会とします。
- ・提出された得点が同点の場合は10点数の数、X数の数を比べ、それでも決まらない場合には選考役員による抽選で決定させていただきます。

10. 表彰 男女とも 優勝～第3位 賞状

2日間（144射）の合計点の上位者（男子上位4名、女子上位2名）にはその年に開催される全日本学生ターゲットアーチェリー個人選手権大会への出場権を与える。

また、合計点が同点の場合は1日目と2日目の得点（72射）で高い方を比較し、その得点が高い者に出場権を与える。

1 1. 選手チェック・用具検査について

- ・来場者（選手、監督・コーチ、役員、メディア関係者など）は、受付で検温と健康チェックの確認を行ってください。
- ・**無断での欠席をすると今大会の参加は認められません。**
- ・原則として辞退は認めません。やむを得ない事情で辞退する場合は、所属する地区学生アーチェリー連盟を通してご連絡ください。

1 2. 大会時の注意事項について

- ・公式練習はユニフォームを着用してください。
- ・開閉会式は新型コロナウイルス感染拡大防止のために行いませんのでご了承ください。
- ・競技者番号の装着場所は、クィーバーまたは太腿に明瞭に表示し、シューティングライン後方から見えるようにして下さい。
- ・**会員証・学生証・バッジ**を必ず忘れないようにして下さい。
- ・**アウトドアバッジまたはグリーンバッジ**の提示をすること。
- ・会場内は全て喫煙（電子タバコを含む）禁止とさせていただきます。
- ・出場選手公開後の参加費の返金は一切認められません。
- ・出場選手はメディアに写真が掲載される場合があります。
- ・今大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために無観客試合とさせていただきますので、保護者、一般の方は入場をご遠慮ください。
- ・**新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策についての文書を別途掲載するので必ず確認してください。**
- ・新型コロナウイルスの感染状況によっては大会直前であっても中止することがございますのでご了承ください。

※バッジ申請中の選手はバッジ報告書に「申請中」と記入してください。「申請中」と記入していない選手が用具検査の時に申請中と申告しても用具検査は通りません。

1 3. 競技方法

<公式練習>

- ・公式練習は、当日の決められた時間内に限り行うことができます。
- ・制限時間4分間を2回繰り返し、練習を行います。

<70mラウンド>

- ・行射は男女共に70mの距離・72射を二日間行い、1エンド4分6射で行います。
- ・行射は、信号機とデジタル時計で管理し、30秒前には、黄信号を表示します。
- ・競技の進行は、AB 行射・CD 行射 矢取り、CD 行射・AB 行射矢取りの繰り返しとし、

練習は AB 行射矢取り・CD 行射矢取りで行います。

- ・弓具破損による補充矢の行射は認められません。
- ・その他に関しては、全日本アーチェリー連盟競技規則(2022～2023)に従って行います。

14. 監督・コーチについて

本大会の監督・コーチは事前申請制とし、事前申請のあったコーチのみが競技エリアに入場可能となります。各大学、監督1名、コーチ1名の最大2名まで帯同することができます。事前申請はバッジ報告書にて行います。

15. ドーピング検査について

- ・本競技会は日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
- ・本競技会参加者は、競技会にエントリーをした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなします。
- ・選手は、写真付き身分証明証（学生証、自動車免許証、パスポート等）を持参してください（本人確認のため義務付けられている）。
- ・本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかつた場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。
- ・アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意してください。
- ・本競技会参加者は、競技前7日間に服用した医薬品、塗布、注射等医療行為を施したり、使用したもの（処方薬、売薬を問わない）および摂取したサプリメント類の名前と数量を記入したメモを携行したりすることが薦められます。
- ・病気、けがなどの治療のため禁止物質や禁止方法を使っている場合、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）に対して、大会30日前までに「JADA・TUE申請書」を提出してください。
- ・競技会・競技会外検査を問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技／運動終了後2時間の安静が必要となるので留意してください。

※TUE：治療使用特例 ※疑問点は、JADAのホームページ参照。あるいは、全日本アーチェリー連盟に問い合わせること。

※日本アンチ・ドーピング規定の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト

(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認すること。

16. 費用 大会参加費 ￥6,000

17. 参加費納入について

出場選手の所属する大学は、各地区学生アーチェリー連盟からの要請後、決められた期日までに各地区学生アーチェリー連盟に参加費を納入すること。

その後、地区学生アーチェリー連盟は、**5月14日**までに参加費を納入すること。

18. 連絡先・質問先

全日本学生アーチェリー連盟 競技委員長 鈴木 雅也

TEL 080-9528-7673

PC メール ajsaf61.suzuki@gmail.com